

# 音楽から学んだ“自然体”

羽鳥地区出身、石岡市在住。  
「音楽を通して人の役に立ちたい」と語る阿部圭二さん。



国民文化祭『JAZZ CAFE』司会・出演

## 阿部圭二さん

みの〜れと共に生活するスタイル  
**Minole Life**  
のすすめ

No.17

来月みの〜れで開催される国民文化祭「いばらきビッグバンドジャズフェスティバル」で、風の広場(中庭)で開催される『JAZZ CAFE』に、「ISHIOKA RAINY JAZZ TORIO」の一員としてピアノ演奏を披露する傍ら、総合司会も務める。ビッグバンドからピアノトリオまで様々な形態の音楽活動を経験し、自ら作曲も手がけライブなどでの活躍中の阿部圭二さん取材する。

## 心と自然に 心と純粋に

音楽との出会いは兄の誘いがきっかけだった。大学のサークルでトランペットを吹いていた兄から「ギターを持っていないか？」と声をかけられ、兄弟で同じ大学の同じサークルに所属。このときからジャズのギター教室に通い、本格的に勉強。数多くのステージを経験した。

大学卒業後、今度は電子ピアノを買ってピアノ教室に通った。ピアノで壁にぶつかり前に進めなという。基本練習を中心と徐々に出来ることから増やしていった。「一日二時間くらいのレッスン、多い日は一日八時間もレッスンしましたよ」と阿

部さん。

音楽活動するうちにいつしか「音楽を通じて何か人のためにできることはないか」と考えるようになった。「自分のように大人になってからピアノを始めたいと思う人もいるかもしれない」と思い、昨年8月には『音楽初心者のSNS』というホームページを開設。メンバーは現在全国から一五〇名ほど集まっている。

また、月に一度、石岡市の喫茶店「abi」でライブを行なっている。「ライブを通して音楽の楽しみを共有し、たくさん人の生活を潤わせていけたら」と話す阿部さんは、三年位前から作曲も手がけるようになった。ライブで披露したところ評判がよく、月一回のペースで曲を作った。

「心と自然に向き合っていないと音楽は出来ないし、心と純粋に向き合っていないとメロディーが生まれてこない。自分と自然に向き合うことが生きるうえでいかに大切かということ、音楽から学びました。音楽と出会っていなかったら今の自分はいないかもしれないね」。

阿部さんの将来の夢を聞いてみた。「ジャズピアノの教師として、ピアノを通して音楽を広めていきたいです。そして、音楽を通して学んだ『やれば出来る』ということも伝えていきたいですね」

(藤田佐知子)